



佐藤照彦議員

産業振興

# 漁場の効率的利用は

## 筏からの垂下本数減に取り組む

質問

- ① 地域営漁計画に基づく漁場の効率的な利用、担い手の育成確保、販売の取り組みは進んでいるか。
- ② 耕作放棄地が増加する状況の中、農地復元のためどう施策を展開するか。
- ③ 森林と林業の再生のために、森林整備や間伐の取り組みを強化し、地元材を活用した校舎や公共施設の整備、住宅建築やリフォームに助成するなど取り組んでもらいたい。

沼崎町長

漁場の効率的利用では、筏からの垂下本数の削減に取り組んでいる。担い

手の育成確保では、施設保有台数の上限に後継者

枠を追加できるところもある。販売では、ワカメの塩絡め出荷とウニの畜養販売が目標どおりには進んでいない。

② 耕作放棄地再生利用緊急対策の導入について、土地所有者や担い手と調整し利用権設定につながるよう支援する。

③ 山主に負担の掛からない方法を提案し、森林と林業再生に取り組んでいる。地元産材使用への補助は県が平成22年度から創設する方針を示した。町の補助は今後検討したい。

### 医師確保

# これまで以上に頑張ってもらいたい

# 応援されるよう頑張りたい

質問

① 平成22年度に地域医療推進室が新設されることでもあり、医師確保と県立山田病院が担うべき役割と機能の充実については、こ

れまで以上に頑張ってもらいたい。町独自の医師養成事業を創設し、医学生への助成に力を入れてもらいたい。

② 総合的な子育て支援策を早急に確立してもらいたい。

沼崎町長

① 提言に応えられるよう頑張りたい。県の奨学金制度によって就学し、県立病院勤務を義務付けられた医師を、県立山田病院に配置するよう要望活動を継続したい。

② 「やまだまち次世代育成支援計画」後期行動計画策定作業を進めている。子育て支援センターについても設置箇所、時期などを検討している。

### 議員12人が一般質問



4月1日に新しくなった健康福祉課内に地域医療推進室が新設されました